

2023年6月20日

各位

株式会社北洋銀行

北日本精機株式会社様の『SDGsコンサルティング』のご利用について

北洋銀行(取締役頭取 安田 光春)は、お客さまのSDGs経営への取り組みを支援するため「SDGsコンサルティング」を提供しています。今般、北日本精機株式会社様(北海道芦別市、代表取締役 小林 以智郎様)が本サポートを利用し『サステナビリティ経営方針』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

当行は今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

会社概要

会社名	北日本精機株式会社
所在地	北海道芦別市上芦別町26-23
代表者	代表取締役 小林 以智郎
業種	ベアリング製造

※サステナビリティ経営方針の詳細は別紙をご参照ください。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。



経営理念

1. 信頼性の高い品質と、変化に対応できる強い企業体質を目指し、若さと活力に満ちた真の優良企業を実現する
2. 北日本精機グループを結集し、広く産業社会の発展に貢献するとともに地域社会の発展に寄与する
3. 緑の大地を愛する企業人の育成に努め、地球環境の改善を図る

北日本精機 グループ

サステナビリティ経営方針

私たちは「企業は社会の中で成長し、その活動を通じて社会の発展に寄与すべき存在である」と考えています。私たちは社会とのつながりを大切に、ステークホルダーの皆様の声に耳を傾けながら、価値観の共有と信頼関係の構築に努め、持続的な社会と地域経済の発展に貢献してまいります。

事業に影響を与える環境変化



重要課題 (マテリアリティ)

取組内容

主なステークホルダー

1 環境に配慮した経営の実現	①脱炭素への取り組み ②省エネルギーへの取り組み	地球環境
2 多様な人材の雇用・育成によるダイバーシティ経営実現	③女性社員の活躍推進 ④シニア社員の活躍推進 ⑤若手社員の活躍推進 ⑥外国人社員の活躍推進	社員
3 社員の安全と健康に配慮した働きやすい職場づくり	⑦工場における安全衛生の推進	社員
4 地域社会への貢献	⑧強い企業体質により地域の雇用を維持	地域社会
5 事業活動における社会的責任の透明性確保	⑨人権等に関するガイドライン検討 ⑩本取り組み内容の対外公表	お取引先

サステナビリティ経営への取り組み



北日本精機 グループ

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

また、環境問題、労働負荷や人権問題など企業を取り巻く社会課題のうち、当社が将来にわたって事業活動を継続するために重要な課題をマテリアリティと定め、重点テーマを設定しております。重点テーマの取り組みを通じて、経営のリスクを回避し、イノベーション創出の機会を捉えてまいります。

SDGs達成とマテリアリティへの取り組み

環境

美しい自然を満喫できる、良好な自然環境を大切に、持続的発展を可能とする健全な環境を、次世代に継承することが責務であることを認識し、環境に調和する生産活動を通じて、継続的改善と汚染防止・省エネ・省資源に取り組んでまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・環境マネジメントシステム(ISO14001)などの取り組み継続
- ・ハイブリッド車導入への取り組み
- ・水、金属、廃油など資源のリサイクル推進
- ・省エネ設備の導入、照明のLED化
- ・木質ペレットを活用したエネルギー機器の使用



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

	重要課題	取組内容	目標・KPI
1	環境に配慮した経営の実現	脱炭素への取り組み	2024年までにSCOPE1・2における温室効果ガスを算出のうえ、「ゼロカーボン北海道」の実現を目指し、2030年までの削減目標を設定する
		省エネルギーへの取り組み	省エネ法の事業者クラス分け評価制度において、5年度間平均原単位変化1%以上低減を目標とする



社会・地域

企業を支える大切な社員一人ひとりの個性と可能性を尊重し、様々な年代の方が生きがいを持って働ける、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）がとれた雇用環境づくりに取り組んでいます。また、重労働作業の改善や事業場のバリアフリー化など、女性や高齢者、障がい者を含む全社員が安全で働きやすい職場環境の整備にも努めています。

北海道芦別市に創り上げた"EZO"のふるさと、そこは先進技術と自然の融合ゾーン。この地で育んできたモノづくりスピリットを通じ、地域貢献を行ってまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・品質を支える人材教育の推進
- ・資格取得に向けた奨励制度
- ・表彰制度の継続
- ・定期健康診断、メンタルヘルスケアの実施
- ・安全衛生委員会による職場環境改善
- ・女性の働きやすい職場の確立
- ・地元人材の積極的な採用
- ・地域イベントへの協賛
- ・近隣小中学校からの社会科見学の受入
- ・インターンシップの受入
- ・美術館、写真館、多目的センターなどの整備による地域の活性化



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

	重要課題	取組内容	目標・KPI
2	多様な人材の雇用・育成によるダイバーシティ経営実現	女性社員の活躍推進	2024年までに監督者に占める女性割合を15%にする
		シニア社員の活躍推進	定年後の継続雇用率85%を維持する
		若手社員の活躍推進	階層向けに社員の育成体制・研修カリキュラム等を充実させ、スキルアップ及びモチベーション向上を図る
		外国人社員の活躍推進	外国人社員の社員寮完備とともに地域コミュニティへの円滑な溶け込みを支援する
3	社員の安全と健康に配慮した働きやすい職場づくり	工場における安全衛生の推進	全工場のオイルミスト対策を継続する 製造現場での労働災害0件に抑える
4	地域社会への貢献	強い企業体質により地域の雇用を維持	毎年地域からの採用を継続し、地元雇用の維持・拡大を図る

経済・ガバナンス

「お客様の要求する仕様・価格・納期を満足する製品およびサービスを継続して提供すること」を品質と定義しています。品質の継続的な改善のため、品質マネジメントシステムの構築と実践、業務の効率化と事務合理化により、常にその有効性を検証し品質の向上に努めています。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・品質マネジメントシステム(ISO9001、IATF16949)などの取り組み継続
- ・お客さまとのコミュニケーションによる品質向上への取り組み
- ・4S活動等の実施
- ・コンプライアンス体制の構築
- ・事業継続力強化計画に基づく取り組み継続



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

	重要課題	取組内容	目標・KPI
5	事業活動における社会的責任の透明性確保	人権等に関するガイドライン検討	2023年中に人権等に関するガイドライン策定の検討を開始する
		SDGs経営の対外公表	2023年中に本取り組み内容を対外公表する

